

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2024/11/08	000000305689	初回作成日: 2024/11/08

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : シーカ ポゾリス 89 (旧) マスターポゾリス No. 89

製品コード : 000000000055726323

### 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : シーカ・ジャパン株式会社

住所 : 神奈川県茅ヶ崎市萩園 2722

電話番号 : +81467849640

FAX番号 : +81467849648

### 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 建設用化学品

## 2. 危険有害性の要約

### 化学品の GHS 分類

GHS 分類基準に該当しない。

### GHS ラベル要素

ハザードを示すピクトグラム、注意喚起の言葉、ハザードステートメント、注意書きは不要。

### GHS 分類に該当しない他の危険有害性

重要な徴候及び想定される非 : この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS 分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性がある GHS 分類以外の危険性に関するものである。

## 3. 組成及び成分情報

### 成分

本製品は、日本の法令で定められている化学物質、あるいは GHS に準拠して分類されるカットオフ値以上の化学物質は含有しない。

## 4. 応急措置

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2024/11/08	000000305689	初回作成日: 2024/11/08

- |                       |   |
|-----------------------|---|
| 一般的アドバイス              | : 救急隊員は自身の安全に注意を払うこと。<br>汚れた衣服は直ちに置き替える。  |
| 吸入した場合                | : 安静にし、新鮮な空気のある場所へ移動させること。<br>症状が続くようであれば、医師の診察を受けること。                              |
| 皮膚に付着した場合             | : 皮膚に付着した場合、直ちに水と石鹸で十分に洗い流す。<br>いかなる場合にも有機溶剤を使用してはいけない。<br>刺激が続くようであれば、医師の診察を受けること。 |
| 眼に入った場合               | : 直ちにまぶたを開き流水で 15 分以上洗い流した後、眼科医の<br>診察を受ける。   |
| 飲み込んだ場合               | : 直ちに口をすすぎ、200-300ml の水を飲み、医師の診察を受<br>ける。<br>中毒情報センターまたは医師の指示がない限り、吐かせない<br>こと。     |
| 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 | : 知見なし。   |
| 医師に対する特別な注意事項         | : 症状に応じた治療を行う。  |

### 5. 火災時の措置

- |             |  |
|-------------|--|
| 適切な消火剤      | : 泡<br>水噴霧<br>粉末<br>二酸化炭素 (CO2)  |
| 使ってはならない消火剤 | : 棒状放水   |
| 有害燃焼副産物     | : ヒューム／煙<br>有害な蒸気<br>炭素酸化物<br>窒素酸化物<br>カーボンブラック  |
| 特有の消火方法     | : 燃焼物および火災条件により危険度が変わる。<br>火に暴露された場合は、噴霧水によって容器を冷却する。<br>汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処<br>理施設に流さないこと。<br>汚染された消火用水は、法令に従い処分すること。 |

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2024/11/08	000000305689	初回作成日: 2024/11/08

消火を行う者の保護 : 自給式呼吸器を着用のこと。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。  
保護眼鏡／保護面を着用すること。  
保護具を着用する。  
適切な安全衛生管理方法に従って取り扱うこと。

環境に対する注意事項 : 容器に汚染水／消火用水を取り集める。  
排水溝等に流出させない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 適切な器具を用い回収し、廃棄すること。  
法令に従って吸着剤を廃棄すること。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

火災及び爆発の予防 : この製品は、自己燃焼性でも爆発性でも可燃性でもない。

安全取扱注意事項 : 粉塵／ミスト／蒸気を吸入しない。  
直接肌に触れることは避けてください。  
十分な換気を確保する。  
適切に使用する場合、特別な対策は必要ない。

接触回避 : 強酸  
強塩基類  
強酸化剤  
強力な還元剤

衛生対策 : 作業中は、飲食や喫煙をしない。  
作業後及び休憩前に手洗い、洗顔をする。  
作業後に皮膚を洗浄し、皮膚保護剤を塗布すること。  
手袋は使用前に定期的に点検すること。小穴がある場合など、必要に応じて手袋を交換すること。

#### 保管

保管状態に関する追加情報 : 出荷容器のまま、換気が十分な乾燥した冷暗所において、点火源、熱または炎から離して保管すること。

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -  
1.0 2024/11/08 000000305689 初回作成日: 2024/11/08

直射日光を避ける。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 濃度基準値 / 許容濃度	出典
formaldehyde	50-00-0	ACL	0.1 ppm	安衛法 (管理濃度)
		OEL-M	0.1 ppm 0.12 mg/m3	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 気道感作性物質, 第2群 人間に対しておそらく感作性があると考えられる物質., 皮膚感作性物質, 第1群 人間に対して明らかに感作性がある物質., 発がん物質, 「第2群A」に分類される物質は, 証拠が比較的十分な物質で, 疫学研究からの証拠が限定的であるが, 動物実験からの証拠が十分である.			
		OEL-C	0.2 ppm 0.24 mg/m3	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 気道感作性物質, 第2群 人間に対しておそらく感作性があると考えられる物質., 皮膚感作性物質, 第1群 人間に対して明らかに感作性がある物質., 発がん物質, 「第2群A」に分類される物質は, 証拠が比較的十分な物質で, 疫学研究からの証拠が限定的であるが, 動物実験からの証拠が十分である.			
		TWA	0.1 ppm	ACGIH
		STEL	0.3 ppm	ACGIH

### 保護具

呼吸用保護具 : 呼吸保護具 (換気の悪い場合)  
有機、無機、無機酸及びアルカリ性化合物のガス/蒸気用複合フィルター (例: EN14387 タイプ ABEK)

### 手の保護具

備考 : 不浸透性手袋 合成ゴム製手袋 種類が多岐にわたるため、製造業者が指示した方法を遵守すること。

眼の保護具 : サイドシールド付き安全眼鏡 (フレームゴーグル) (例 EN 166)

皮膚及び身体の保護具 : 保護具は作業と暴露レベルに応じて選定選択すること。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2024/11/08	000000305689	初回作成日: 2024/11/08

保護対策 : 粉塵/フューム/エアゾールを吸入しないこと。  
皮膚、眼、衣服への接触を避ける。  
暴露を避けること。  
適切な安全衛生管理方法に従って取り扱うこと。  
上下一体型作業衣の着用が望ましい。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 褐色
臭い	: 特異臭
臭いのしきい(閾)値	: 不定
融点/ 範囲	: 不定
沸点/沸騰範囲	: データなし
可燃性 (液体)	: 燃焼しない
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	
爆発範囲の上限 / 可燃上限	: データなし
値	
爆発範囲の下限 / 可燃下限	: データなし
値	
引火点	: > 250 ° C
自己発火性	: 自己発火性なし。
分解温度	: 通常の手扱い条件下で危険分解物なし。
pH	: 6.5 (20 ° C)
蒸発速度	: データなし
自然発火温度	: データなし

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
1.0	2024/11/08	000000305689	初回作成日: 2024/11/08

粘度		
粘度 (粘性率)	:	データなし
動粘度 (動粘性率)	:	データなし
溶解度		
水溶性	:	不溶
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	:	混合物には適用されない
蒸気圧	:	データなし
密度及び／又は相対密度		
比重	:	データなし
密度	:	1.102 gPcm3 (20 ° C)
相対ガス密度	:	データなし
爆発特性	:	爆発性なし
酸化特性	:	火災伝播性はない。
自己発熱性化学品	:	自己発熱性物質ではない。
金属腐食速度	:	金属に対する腐食性なし。
粒子特性		
粒子サイズ	:	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	:	指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。
化学的安定性	:	製品は通常の実取扱い条件下で貯蔵すれば安定である。
危険有害反応可能性	:	製品は通常の実取扱い条件下で貯蔵すれば安定である。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
1.0	2024/11/08	000000305689	初回作成日: 2024/11/08

避けるべき条件	: 製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。
混触危険物質	: 強酸 強塩基類 強酸化剤 強力な還元剤
危険有害な分解生成物	: 通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

データが不足しているので分類されていない。

### 皮膚腐食性／刺激性

データが不足しているので分類されていない。

### 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

データが不足しているので分類されていない。

### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

#### 皮膚感作性

データが不足しているので分類されていない。

#### 呼吸器感作性

データが不足しているので分類されていない。

### 生殖細胞変異原性

データが不足しているので分類されていない。

### 発がん性

データが不足しているので分類されていない。

### 生殖毒性

データが不足しているので分類されていない。

### 特定標的臓器毒性（単回ばく露）

データが不足しているので分類されていない。

### 特定標的臓器毒性（反復ばく露）

データが不足しているので分類されていない。

### 誤えん有害性

データが不足しているので分類されていない。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2024/11/08	000000305689	初回作成日: 2024/11/08

#### 詳細情報

##### 製品:

備考 : 通常の使用条件下では健康を損ねることが知られておらず、  
予想もされない。  
本製品自体のデータなし  
本情報は、構成成分のデータ及び類似する製品の毒性に基づく。

#### 12. 環境影響情報

##### 生態毒性

##### 製品:

##### 環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期（急性） : 本製品には既知の生体毒性は無い。

水生環境有害性 長期（慢性） : 本製品には既知の生体毒性は無い。

##### 残留性・分解性

##### 製品:

生分解性 : 備考: 数種類の成分の性質を考慮すると、OECD 分類に従えば、製品はすぐには生分解しないと推定されます。

##### 生体蓄積性

##### 製品:

生体蓄積性 : 備考: データなし。  
環境への放出は必ず避けなければならない。

##### 土壌中の移動性

データなし

##### オゾン層への有害性

非該当

##### 他の有害影響

##### 製品:

生態系に関する追加情報 : 前処理なしに河川等に流してはならない。



版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
1.0	2024/11/08	000000305689	初回作成日: 2024/11/08

本品は未試験である。環境毒性に関する記述は、各成分の特性に基づくものである。

### 13. 廃棄上の注意

#### 廃棄方法

- 残余廃棄物 : 国のまたは地方の法定事項に従うこと。  
残渣は、この物質/製品と同様の方法で廃棄しなければならない。
- 汚染容器及び包装 : 汚染された包装から内容物を可能なかぎり取り除き、包装を完全に浄化した上でリサイクルに回すこと。  
汚染された容器は製品と同様に廃棄する。

### 14. 輸送上の注意

#### 国際規制

##### 陸上輸送 (UNRTDG)

- 国連番号 : 非該当  
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当  
国連分類 (Class) : 非該当  
副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当  
容器等級 (Packing group) : 非該当  
ラベル (Labels) : 非該当  
環境有害性 : 非該当

##### 航空輸送 (IATA-DGR)

- UN/ID 番号 (UN/ID number) : 非該当  
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当  
国連分類 (Class) : 非該当  
副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当  
容器等級 (Packing group) : 非該当  
ラベル (Labels) : 非該当  
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 非該当  
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 非該当

##### 海上輸送 (IMDG-Code)

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
1.0	2024/11/08	000000305689	初回作成日: 2024/11/08

国連番号	: 非該当
国連輸送名 (Proper shipping name)	: 非該当
国連分類 (Class)	: 非該当
副次危険性	: 非該当
容器等級	: 非該当
ラベル	: 非該当
EmS コード	: 非該当
海洋汚染物質 (該当・非該当)	: 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)  
供給された状態の製品には非該当。

### 15. 適用法令

#### 関連法規

##### 消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

##### 労働安全衛生法

##### 製造等が禁止される有害物

非該当

##### 製造の許可を受けるべき有害物

非該当

##### 健康障害防止指針公表物質

非該当

##### 変異原性の認められた化学物質 (既存化学物質)

非該当

##### 変異原性の認められた化学物質 (新規届出化学物質)

非該当

##### 名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

##### 名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

##### 皮膚等障害化学物質 不浸透性の保護具等の使用義務物質 (労働安全衛生規則第 594 条の 2)

非該当

##### がん原性物質 (労働安全衛生規則第 577 条の 2)

非該当

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
1.0	2024/11/08	000000305689	初回作成日: 2024/11/08

**特定化学物質障害予防規則**

非該当

**鉛中毒予防規則**

非該当

**四アルキル鉛中毒予防規則**

非該当

**有機溶剤中毒予防規則**

非該当

**労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)**

非該当

**毒物及び劇物取締法**

非該当

**化学物質排出把握管理促進法**

非該当

**火薬類取締法**

非該当

**船舶安全法**

危険物として規制されていない

**航空法**

危険物として規制されていない

**海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律**

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Z 類)

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

**水質汚濁防止法**

有害物質 (法第 2 条、施行令第 2 条、排出基準を定める省令第 1 条)

指定物質 (法第 2 条 4 項、施行令第 3 条の 3)

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

産業廃棄物

---

**16. その他の情報**

日付フォーマット : 年/月/日

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2024/11/08	000000305689	初回作成日: 2024/11/08

## その他の略語の全文

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)  
安衛法 (管理濃度) : 作業環境評価基準、健康障害防止指針  
日本産業衛生学会 (許容濃度) : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度  
  
ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均  
ACGIH / STEL : 短時間暴露限界  
安衛法 (管理濃度) / ACL : 管理濃度、基準濃度  
日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-M : 許容濃度  
日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-C : 最大許容濃度

AIIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50% 阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50% 致死濃度; LD50 - 50% 致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性 (物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA